

しせつ 施設 伊豆の国市の施設紹介 施設へ行こうよ!

市内に点在する多くの公共施設。これらの施設を皆さんにもっと利用していただけるよう、このコーナーでは、市内にある公共施設を順次紹介していきます。

第10回 姫のあし湯

いよいよ温泉の恋しい季節到来。絶え間なく湧き出る温泉の恩恵である足湯を、だれでも気軽に楽しめるのは、温泉地に住む私たちの特権でしょう。良質の温泉に足を浸して、「ほっ」と一息ついてみませんか。ゆ〜ったり、リラックスを。

源泉そのまま

平成十六年、アクセスかつらぎふれあい広場にあった飲泉所「北斗の泉」がリニューアルされ、足湯、飲泉所、休憩所を併設した「姫のあし湯」が誕生しました。観光客や買い物帰りの人、散歩途中の地元の人たちが絶えず訪れ、世間話をしながらお湯を楽しんでいる光景が見られます。

ここは、一度に十二〜十五人ほどが入れる御影石で囲まれた大きな浴槽が特徴。もちろん車いすでの入浴ができるようにバリアフリーにも対応



純和風の東屋が温泉情緒を醸し出しています



広々と清潔感のある浴槽

噴出口から注がれるのは、源泉百パーセントの掛け流し湯。弱アルカリ性単純泉で、肌をきれいにする、美人の湯として有名な伊豆長岡温泉の源泉が惜しみなく注がれています。無色透明で刺激が弱いので、誰でも入りやすく、優しい入り心地。季節により体感温度に差がありますが、熱い湯を好む人は噴出口あたりに、ぬるめのお湯を好む人はちょっと離れたところに座れば温度の調節もできます。脱衣所がないので、できれば靴下で、タオルを持ってお越しください。お湯の衛生を保つため、深夜に浴槽のお湯をすべて抜き出し、翌朝入れ替えます。そ

体の中から

飲泉所からは、足湯同様、源泉が絶えず流れ出ています。飲みやすい温度で、腎臓病や高血圧症等に効果あり。足と胃で吸収すれば、体の芯からホカホカに。

このお湯は、消毒をしていないため、持ち帰っての飲用はご遠慮ください。

冬の醍醐味

姫のあし湯があるアクセスかつらぎふれあい広場では、現在、イルミネーションを実施中。白色と青色に輝く光が



この時期はイルミネーションも楽しめます

幻想的な雰囲気を作り出しています。光の世界に溶け込んで足湯に浸れば、日ごろの疲れも吹き飛んでしまいがち。冬のみの企画です。ぜひご覧ください。イルミネーションは、二月末まで実施予定。

姫のあし湯

住所 古奈 255
(アクセスかつらぎふれあい広場内)
運営時間 6:00 ~ 24:00
入場料 無料
駐車場 アクセスかつらぎ駐車場をご利用ください。
問合せ 観光商工課
電話 055 948 1480



21人目

いずのくにの女

伊豆の国市内に住む、働く、または緑のある、輝いている女性たち。今回は、2月24日(土)・25日(日)に第10回公演『役の行者』を行う、葦山時代劇場付属劇団『いず夢』の劇団員、矢田晃代さんを紹介しします。

「劇団いず夢」の問合せ 葦山時代劇場 電話055(949)8600



文化財保護推進キャラ『ハニラッタ』



矢田 晃代さん(四日町)

食べ物は何でも好き。趣味はイラストを描くこと、文化財めぐり。好きな場所は京都の上賀茂神社。

「高校時代は演劇部に所属し、就職して地元に戻ってきたとき、なんとなく葦山時代劇場付属劇団に入りまして、きつかけは、なんとなくの晃代さんですが、プロの女優である座長の藤田弓子さんに身近で接し、刺激を受けたようです。「座長はすごい人。いつも優しく手を差し伸べてくれます。演技も褒めて伸ばす人で、怒ったところは見たことがないですね。」

劇団は今年で創設八周年。昨年春には、愛称を『劇団いず夢』と付けました。「座長曰く『いず夢』とは、『主義』という意味だけど、伊豆に根ざして楽しい空間を創造したい。つまり市になって、より地域に密着した活動をしていこうという、劇団の決意なんです」と晃代さん。実際、発表会『ことばあそび』や、今回の『役の行者』など、最近では地元ゆかりの題材に積極的に挑戦しています。



昨年の公演。写真中央下が藤田座長、左から3人目が晃代さん

「この公演は、役の行者が、妖怪を退治するほどの神通力を持ちながらも、己の心と戦い、情と戦う、人間の葛藤を描いた物語です。」晃代さんは、役の行者に付き従う鬼の役で出演。「今回は、衣装もすこいらしいです(笑)」と晃代さん。公演が楽しみです。また一方で、絵を描くの

広報

いずのくに

は毎月2回発行!

広報「いずのくに」は、毎月1日号と15日号を発行しています。1日号は各自治会(区・組)を通じて配布し、15日号(タブロイド版)は新聞折り込みで皆さんにお届けしています。広報紙がお手元に届かない場合は、各支所、公共施設(アクセスかつらぎ、めおと湯の館、図書館など)、農協や郵便局、金融機関などにありますので、ご利用ください。

問合せ 企画財政課 電話 055 948 1413